

青少年が健全に成長できる社会環境づくり			
努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	評価	課題及び今後の取組
1	放課後児童クラブの運営		いわゆるかぎっ子対策として始まった学童保育であるが、近年核家族化の進展や女性の社会進出等に伴い、ニーズは拡大傾向にある。本町においても開設時間や保育対象児童の範囲など拡充を求める要望は強い。しかし平成25年度から大幅な制度の改正が予定されており、その改正の内容が現段階では不透明であるため、時間延長など直ちに実施できないというのが実情である。今後は、厚生労働省や他の市町の動向等を注視しつつ、25年度からの施行を目標に改正案を検討する。
教育委員会評価委員評価及び意見			
A			○ 今後、学童保育の必要性は今以上に求められ、要望も強いと思われるが、家庭や社会のニーズに合ったこれからの取組みに期待する。 ○ 放課後児童クラブの施設・設備の拡充とともに、保護者のニーズ拡大に伴う、可能な範囲での人的補充も検討していく必要がある。
青少年が健全に成長できる社会環境づくり			
努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	評価	課題及び今後の取組
2	少年育成センターの運営		中学生の非行や不登校等の問題は、年を追うごとにその深刻さの度合いを増しており、それに伴い育成センターの果たすべき役割も大きくなっている。綾南中学校の施設整備に伴い、育成センターの施設のあり方について議論を重ねてきたが、綾南中学校の敷地内に、中学校の施設からは独立した建物を建築する方向で検討している。
教育委員会評価委員評価及び意見			
B			○ 不登校改善のための適応指導教室担当職員の根気強い、きめ細かな指導は高く評価する。 ○ 育成センターの果たすべき役割は大変大きく、重要になってきている。適切な運営の継続のためにも、職員体制の検討とよりよい施設の整備が急務である。

生涯学習施策の充実			
努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組	
3	自治公民館・集会所施設等整備補助	自治公民館・自治集会所の施設整備等に対し補助金を交付するもの。本年度は、施設修繕については、萱原上東、馬場崎、田池西、新名、駐車場整備は滝宮グリーンハイツ、備品購入に対しては正末、視聴覚機材については下大谷、菊楽、山添、飼野上、四歩市の各自治公民館・集会所に補助金を交付した。	補助金交付要綱は平成25年度末までの時限となっているが、地域社会の振興や住民の自治意識高揚のために重要な役割を果たしており、また、費用対効果の観点からも継続が望まれる制度である。駐車場の整備については用地費のみが補助対象であったが、要綱を改正し23年度から工事費についても補助対象とした。今後は災害時の緊急的な避難場所など更なる機能の充実を目指す。
4	自治公民館連絡協議会補助・モデル自治公民館補助	自治公民館連絡協議会に定額の補助金を交付する。また、モデル自治公民館には教育委員会から直接補助金を交付するもの。	自治公民館・自治集会所は、地域の住民にとってコミュニティの拠点として重要な役割を果たしている。モデル自治公民館についてはやや固定化の傾向が見られ改善の努力を重ねてきたもののその成果は十分とはいえない。
教育委員会評価委員評価及び意見			
A		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 補助対象の拡大は施設整備の充実につながり、地域の振興に役立っている。施設の有意義な活用を望む。</li> <li>○ 一町民ではできないことでも、自治会が結束し、組織的に活動すると実現できる。そして、その拠点が自治公民館であると解釈すれば、可能な限り、補助金交付制度の継続が望まれる。今後も自治公民館活動が地域振興の拠点となるよう努力が必要である。</li> <li>○ 自治公民館、自治集会所の稼働率及び内容を精査した上で今後の在り方を探る時代に入っていると思われる。</li> <li>○ 自治公民館、集会所を災害時の緊急避難場所として活用することは必要であるが、町内で立地条件や築年数等で避難場所として不適当な施設はないか、検討する必要がある。</li> </ul>	
生涯学習施策の充実			
努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組	
5	生涯学習講座開設	英会話、ガーデニング、郷土料理など19の講座を公民館等の施設を利用して実施した。講座の内容については、毎年実施状況等を踏まえて、例えば定員割れをした講座を廃止して、新規に講座を開設するなどマンネリ化を防ぐ努力をしている。23年度は、ふるさと探訪教室、ハワイアンダンス教室、切り絵教室、携帯電話安全教室などの新規メニューに取り組み、好評を得た。	生涯学習講座は、各教室が、職員の創意工夫により住民のニーズに対応できるものになっていると思われる。今後は生涯学習センターを拠点とした講座の創設等を検討する。
6	文化協会補助	文化協会に定額補助を行うもの。助成の対象となるのは、各クラブの活動と、文化事業である。本年度の文化事業は、島根県の無形民俗文化財益田糸あやつり人形を上演し、非常に好評であった。	文化事業については、文化協会内部でさまざまな意見があり、意思統一は難しいと思われる。文化事業は好評を得ており、費用対効果の面からも継続するべきと考えるが、そのためには協会内部で議論を深めていく必要がある。
教育委員会評価委員評価及び意見			
A		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生涯学習講座は活発に行われ、充実した内容が実施されている。</li> <li>○ 文化事業は毎年好評であるが、よりよい活動になるよう、相互の話し合いも必要である。補助金の継続を望む。</li> <li>○ 生涯学習センターに対する住民の期待は測り知れないものがあり、そのニーズに応えるべき行政の施策に期待する。</li> </ul>	

生涯学習施策の充実		
努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組
7 夏休み子ども教室	小学生を対象に、書道、図画工作など18の教室を公民館等の施設を利用して実施した。内容については概ね好評であった。	生涯学習講座と同様毎年教室の内容を見直している。23年度では、新規の教室としてサンドブラスト(ガラス細工)、お皿作り教室を開設した。マンネリ化しないよう注意しつつ今後も実施していく
8 成人式開催	新成人を対象に式典を実施した。対象となる新成人257人うち参加者212人。特に問題もなく運営もスムーズであった	昨年に続き今年も大きな混乱もなく式典が実施されている。今後は新成人にとってより有意義で思い出に残る式典となるよう努力する。
教育委員会評価委員評価及び意見		
A	○ 夏休み子ども教室は、直接体験が重視されている今、ものづくりから技の習得、各種実験など、学校では体験できない活動内容が大変充実しており、好評である。今後も内容の工夫をしながら、続けられることが必要である。	
生涯学習施策の充実		
努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組
9 中央婦人学級開催	毎年度数回、婦人会会員を対象に、中央公民館等を利用して婦人学級を開催している。本年度は5月に綾川町地域包括支援センターから講師を招いて認知症について講義を受け、10月には広島市に環境学習として1日研修を実施した。	毎年自主的かつ積極的に事業に取り組み内容も充実している。
10 高齢者学級開催及び社会見学補助	各地区公民館で、概ね60歳以上の高齢者を対象に平均月1回の老人学級を開催している。また、年1回バスを利用して社会見学を実施している。	老人学級の運営については、各地区ともにそれぞれ工夫がなされ、また自主的に運営されており、高齢者には非常に好評である。
教育委員会評価委員評価及び意見		
A	○ それぞれ自主的、積極的に運営されていることで地域づくりに役立っていることが高く評価できる。 ○ 婦人学級、高齢者学級ともに計画的、継続的に、しかも和気あいあいと活動されており、好評である。 ○ 中央婦人学級は活動的で内容も充実しているが、若い方の参加が望まれる。 ○ 活動の充実を図るために、高齢者学級の社会見学等補助の継続を望む。	

生涯学習施策の充実		
努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組
11 人権・同和教育事業	今年度人権啓発事業については、坂出綾歌ブロックで人権をテーマにパンフレットを作成し、町内全世帯に配布した。また、人権週間期間中、児童生徒による人権啓発作品をイオン綾川店に展示して人権問題の意識向上を図った。広報あやがわに毎月掲載している「同和教育シリーズ」は、昨年度に続き香川人権研究所に執筆を依頼した。また、小学生を対象に集会所で学習会を、他の集会所では法話会を実施した。10月には香川県人権教育研究大会が高松で開催されスタッフとして参加した。	児童生徒による人権啓発作品については、これまで改善センターに展示していたが、本年度からイオン綾川店で実施し、より多くの人に見ていただけたと思われる。香川人権研究所に依頼した広報の記事「人権・同和教育だより」については好評であったので24年度も引き続き依頼する。また、香川県人権教育研究大会では司会等として一定の役割を果たすことができた。
教育委員会評価委員評価及び意見		
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人権・同和教育事業は充実した取組内容である。特に人権問題の意識向上を図るため、児童生徒の人権啓発作品は大きな役目を果たしている。</li> <li>○ 今後とも、香川人権研究所との連携を密にし、町民の人権意識の高揚に努めることが必要である。</li> <li>○ さらに啓発の推進を継続実施していき、一人一人が人権・同和教育への理解を深め、より身近に考えられるようになることを望む。</li> </ul>	
生涯学習施策の充実		
努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組
12 公民館運営	綾川町では8地区に9公民館を設置して管理運営を行っている。公民館の管理運営については、建物を維持管理して住民が集まる拠点となることにとどまらず、社会教育法第20条の立法趣旨に基づき、住民の教養の向上と生活文化の振興を図るため事業を実施することが重要である。具体的には、各公民館で生涯学習講座や夏休み子ども教室、婦人学級や老人学級を実施しているほか、公民館クラブの活動拠点となっている。また、公民館運営協議会の意思決定機関としての性格を高めることで、自主的に運営が行われ地域の特性を生かせるよう工夫している。	公民館の管理運営に関する課題の1つは、綾南地区と綾上地区で運営方針に隔たりがあることであった。このことについて昨年度から綾上地区の4館に公民館運営協議会を設置し、本年度は、館長を1名増員して管理運営体制の充実に努めている。また、合併後廃止した公民館クラブの補助金を昨年度から復活させ、23年度も引き続きクラブの育成に努めた。今後も継続する。
13 公民館エレベーター設置事業	山田公民館にエレベーター設置工事を実施した(平成23年10月18日竣工)。	エレベーターの設置は、高齢者や身障者の施設利用の観点から整備が急がれる施策である。平成24年度には西分公民館、上羽床公民館について同様の工事を実施する。
教育委員会評価委員評価及び意見		
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 綾上地区にも運営協議会を設置し、館長を1名増員したことは評価できる。</li> <li>○ 公民館エレベーター設置事業と公民館クラブの補助金制度の復活は、公民館運営に大いに役立っている。</li> <li>○ コミュニティ活動の拠点としての公民館であるので、地域住民が楽しく、安心して活動できるよう、運営面や予算面におけるさらなる充実を期待する。</li> </ul>	



歴史・文化に身近に触れることができる環境づくり			
努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組	
14	図書館分室運営	平成21年度に整備した図書館分室の運営を、昨年度から開始した。現在のところ利用率も予想以上であり、綾上地区の利用者に概ね好評を得ている。	平成24年度から生涯学習センターのオープンに合わせ、分室の管理運営についても生涯学習センターと一括して指定管理者制度を導入する。
15	生涯学習センター新築工事	平成22年度に着工した生涯学習センターが1月に完成し、平成24年4月1日から供用開始の予定である。工事については概ね予定どおりに進捗し特に大きな問題もなく竣工した。	施設整備はこれで完了し、平成24年度からは分室と一体的に管理運営がスタートする。指定管理者制度を活用するので、民間企業の持つ専門的な知識やノウハウを最大限活かし、文字どおり住民の生涯学習の拠点となれるよう努力する。
教育委員会評価委員評価及び意見			
A	<p>○ 綾上地区の図書館分室は好評であり、地域の活性化と住民の知識向上のために大いに成果を上げている。</p> <p>○ 町外に誇れる図書館及び指定管理者制度による生涯学習センターが、住民の生涯学習の拠点や学習と憩いの場となり、綾川町が更に発展することを願う。</p>		
歴史・文化に身近に触れることができる環境づくり			
努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組	
16	木造十一面観音立像保存事業	国指定の重要文化財であり、所有は堂床自治会であるが、町が管理している。収蔵庫の老朽化が著しく保存の状況については抜本的な改善策が求められている。	生涯学習センターの完成に伴い来年度からは場所を移転して常設展示する。また将来的には所有権を堂床自治会から町に移転する方向で検討する。
17	念仏踊り保存会補助	念仏踊り保存会に対し定額の補助金を交付した。また、各踊組に対して不足している衣装や用具の調査を行い来年度その購入に補助する方向で検討している。	平成25年度が総踊りの年であり、各組に対し不足用具等の購入補助を行う必要がある。各組ともに構成員が高齢化しており後継者の育成が急務である。
教育委員会評価委員評価及び意見			
B	<p>○ 国指定の重要文化財を生涯学習センターに保存展示することにより、歴史、文化の学習材料にもなる。</p> <p>○ 文化財の保存事業や保護について、今後の運営に大いに期待する。</p> <p>○ 歴史と伝統を誇る滝宮念仏踊りは町の宝物であり、将来にわたって引き継がれていかなければならない。しかし、高齢化が進む中、後継者問題が課題である。そこで、諸課題の早期解決を図り、若い世代に引き継ぎ、地域の文化の活性化に努めてほしい。</p>		

スポーツの振興と住民の体づくり			
努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組	
18	体育協会補助	体育協会に対して定額の補助金を交付する。	各部の補助金額の決め方について検討を要する。
19	スポーツ少年団補助	スポーツ少年団に対して定額の補助金を交付する。平成23年度の登録団員数299名	少子化の影響か登録団員数に減少傾向が見られ、中には存続が危ぶまれる単位団も散見される。今後は新規団員獲得に向けた広報活動と指導者養成の施策が求められている。
20	幼児体操教室開催	ふれあい運動公園の体育館、プールを利用し、就学前の幼児(4歳児、5歳児)を対象に幼児体操を指導する。	合併前の綾上町から引き継いだ事業である。受講者からは好評を得ており、綾南地区からの参加も多い。また、自主的クラブに発展できる性質のものでないので、今後も教育委員会主催事業として継続する。
教育委員会評価委員評価及び意見			
B		<p>○ スポーツ少年団の指導者養成、特にメンタル面における指導方法に関する研修会等を開催し、指導者の資質向上に努めることが必要である。また、少子化の影響で減少傾向であるので、PRが大変重要である。</p> <p>○ 幼児体操は、体づくり、心づくり、友だちづくり、またコミュニケーション能力の育成にも役立っている。大変好評であるので、今後も継続的に取り組むことを望む。</p>	
スポーツの振興と住民の体づくり			
努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組	
21	町民綱引き大会開催事業	2月26日総合運動公園体育館において開催した。62チームが参加した。	子供の部について各校区2チーム以内という制限を廃止したところ、合計14チームの参加があった。また、決勝トーナメントの抽選の廃止、炭酸マグネシウムの使用禁止など、かなりルールを改定したが混乱もなくスムーズな運営ができた。大人の部は48チームのエントリーがあったが、参加チームがやや固定化する傾向にある。今後は教育委員会が積極的に勧誘して未経験のチームの参加を促進する。
22	オールナイトソフトボール大会開催事業	5月14日～15日ふれあい運動公園野球場においてソフトボール大会を開催した。参加チームは30。	合併前の綾上町から引き継いだ行事であるが合併から5年を経過し旧綾南地域からの参加が着実に増えつつある。
教育委員会評価委員評価及び意見			
A		<p>○ 町民綱引き大会、オールナイトソフトボール大会事業は、どちらも地域の活性化に役立っている。</p> <p>○ スポーツ大会は親睦を深める場であり、工夫次第で活発になると考える。自治会長のリーダーシップの下、これからも行事の発展を期待したい。</p>	

スポーツの振興と住民の体力づくり		
努力事項・施策	具体的な取組内容及び成果	課題及び今後の取組
23	運動公園管理運営事業	陸上競技場、テニスコートの利用者が減少しており検討を要する。
24	ふれあい運動公園管理運営事業	テニスコート利用者数を増やす努力も必要であるが、テニスコート以外の施設に転用する案も1つの選択肢として検討する必要がある。
25	運動公園施設整備事業(海洋センタープール改修工事)	工事は平成23年度を予定していたが、諸般の事情により平成22年度事業として実施する。
教育委員会評価委員評価及び意見		
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動公園の利用料金引き下げは望ましいことである。</li> <li>○ テニスコートの利用者数の減少について、利用者のニーズ、意見等をもとに、場を有効活用できるよう、広報活動に力を入れるなど、様々なアイデアを出して、検討する必要がある。</li> </ul>	